公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
vol. 320
2026年11月13日
発行

1 タイ米山学友会が高潮による浸水被災地を支援

10月31日、タイ米山学友会が高潮による浸水被害を受けたタイ・サムットソンクラーム県アムパワー郡において、被災者支援活動を実施しました。

当日は、同学友会のインタラチット ヌンヌット会長（2006-07／横浜鶴見北ＲＣ）、カンナーティコーン ピヤラット理事（2016-17／青森ＲＣ）をはじめとする15人が参加。同学友会からの寄付、ヌンヌット会長が経営するリゾート施設からの寄付をもとに、手作りのお弁当や保存食、飲料水、生活必需品などを準備し、計70世帯に届けました。活動前半は冠水した道路を歩いて一軒一軒訪問し、後半は同リゾート施設から提供された船を活用して、陸路でのアクセスが困難な運河沿いの住宅へも支援物資を届けました。ヌンヌット会長は、「温かい支援や物資をお寄せくださった皆さま、車両や船の提供にご協力いただいたスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまのご協力のおかげで、被災された多くの世帯へ無事に支援を届けることができました」と、感謝の思いを語りました。

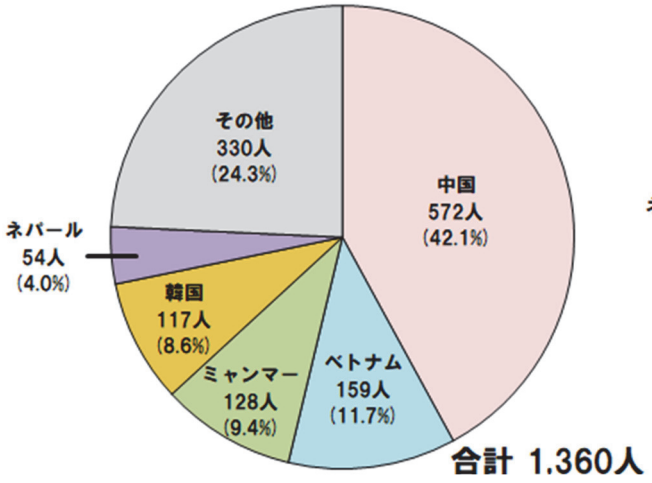

支援物資を手渡し

2 2027学年度奨学金申込み状況

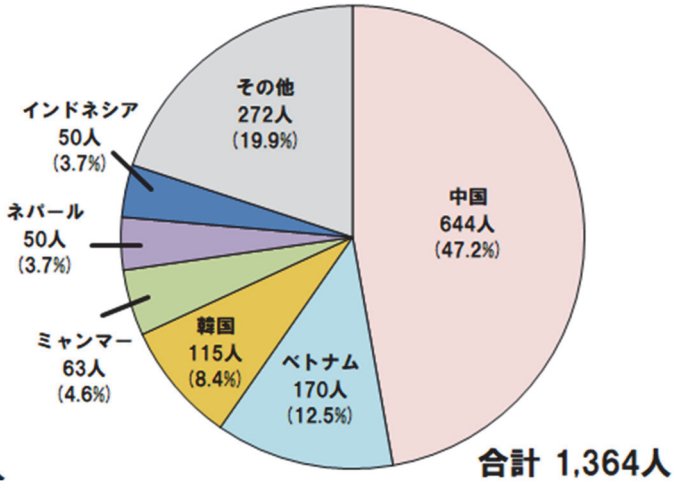
10月15日に締め切りを迎えた2027学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校608キャンパス（地区を超えた指定校の重複含む。前年度610キャンパス）から1,360人（前年度1,364人）が推薦されました。被推薦者の国・地域は、上位から中国572人、ベトナム159人、ミャンマー128人、韓国117人、ネパール54人、そしてインドネシア、モンゴル、スリランカ、バングラデシュ、台湾と続きます。課程別の応募状況は、博士課程 16.5%（15.5%）、修士課程 30.7%（35.8%）、学部課程 49.6%（45.7%）となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、7地区18校から計44人（8地区18校41人）の応募がありました。

今後、各地区においては、国籍割合などにも配慮しながら、書類審査および面接による厳正な選考が行われます。

【2027学年度】



【2026学年度】



3 寄付金速報 ― 米山月間のご寄付に感謝！ ―

前年同期比

－ 0.6%

普 －0.4%　特 －0.7%

10 月までの寄付金は、前年同期と比べて 0.6%減（普通寄付金 0.4%減、特別寄付金 0.7%減）となり、約 270 万円の減少となりました。一方で、単月の寄付額は前年同月を上回っており、明るい兆しも見られます。

今年も残すところ 2 カ月となりました。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4 当財団への寄付により紺綬褒章を受章

国際ロータリー第 2620 地区（静岡・山梨）沼津北ＲＣの土屋雄二郎氏が、9 月 26 日付で紺綬褒章を受章しました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。心よりお祝い申し上げます。

5 オンラインで結ぶ学びと交流「知の歯車交流会」開催

10 月 17 日、国際ロータリー第 2580 地区米山学友会が「知の歯車交流会～AI 編～」をオンラインで開催しました。

同イベントは、2023 年末に始動した「キャリア共有交流会」を前身とする取り組みで、就職や転職、起業といったキャリアに関する知恵や経験を共有し、学友同士の助け合いを目的にスタートしました。その後、学友の抱える悩みや課題に柔軟に応える場へと発展させるため、「知の歯車交流会」と名前を変更。原則オンラインで開催することで会場費等のコストを抑え、地理的な壁をなくして全国の学友が手軽に参加できる環境を整える狙いがあるそうです。

当日は、「AI はどこまでできるようになったのか」「これからの私たちに必要なこと」といった、AI に関する講演が行われた後、参加者からの質問や相談を中心に活発な意見交換が展開されました。同学友会にとってフルオンラインイベントは初の試みとなりましたが、場所の壁を越えた充実した学びと交流の場となりました。

会長のグエン ティ キャット ウィンさん（2005-07／東京ＲＣ）は「時代や環境の変化、学友の課題に合わせてテーマを柔軟に広げながら、今後もオンラインを活用した交流の場をつくりたいです」と、今後の抱負を述べました。

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限 2 人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。国内在住の学友には 25 万円、海外在住の学友には 35 万円を上限に、補助いたします。

詳細はこちら

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

第 6 代よねやま親善大使が、当事業や自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話しします。9~11 月は地区行事のみでなく、通常のクラブ例会についても当財団の旅費負担で派遣が可能です。ぜひ、お招きください。


パブロ プーガさん


ガンバト トゥメンバヤルさん

詳細はこちら

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾（ながお）